

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート

No.35-1

PDCA

主要事業名

新美南吉記念館展示室
一部リニューアル事業

部課名

教育部 博物館
新美南吉記念館

担当

三輪
内線

26-4888

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：1 - 2 - 2 単位施策：文化の振興と継承

全体事業期間：令和4年度～5年度 全体事業費等：14,006千円

会計 一般会計・その他 歳出科目：09.05.07.10.51

事業概要等

事業概要：平成6年の開館以来、改修していない常設展示パネルについて、令和5年の新美南事業概要：吉生誕110年を機に内容・デザインを更新する。ビデオシアターのシステムを変更し、既存の番組に加えて、ストップモーションアニメごんも記念上映する。

事業目的：古くなった展示パネルの更新とビデオシアターの充実により、記念館の魅力を向上させる。

事業内容：平成6年の開館時のままになっている常設展示室の展示パネルの内容・デザインを更新し、あわせてビデオシアターの番組を充実させる。

問題点・課題等：現存展示パネルの躯体を再利用するなかで、いかに新しさを感じさせる内容・デザインにするかが課題

予算額

12,763千円

財源内訳

市費

10,313千円

国費

0千円

県費

0千円

その他

2,450千円

主要事業とする理由

令和5年に迎える新美南吉生誕110年を記念する事業の先駆けとして、記念館の基礎である常設展示を刷新する特別な事業であるため。

得られる成果

南吉記念館の基礎ともいえる常設展示、ビデオシアターを刷新しリピーター増加へと繋げる。

目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
南吉記念館来館者数	実績値	24,820	30,983	—	人
	目標値	63,000	29,000	73,000	人
	実績値				
	目標値				
	実績値				
	目標値				

D

実績
得られた成果と

決算額

12,603千円

得られた成果

展示のデザイン・字体等を一新したことで、全体的に親しみやすく読みやすくなり、来館者アンケートでも肯定的な感想を多くいただいている。また1月以降、生誕110年関連のイベントとともに展示リニューアルという話題を提供できたことで、報道機関にも何度も取り上げられ、集客の助けとなっている。

成果指標		令和4年度	単位
南吉記念館来館者数	実績値	44,095	人
	目標値	73,000	人

C

課題の整理

事業の評価・課題

C
来館者数の目標値はコロナ明けと生誕110年の効果を最大に見込んだものだった。実際には昨年度の42%増、リニューアルを行った1月以降でみると91%増であり、目標値には届かなかったものの生誕110年が始まって以降特に増加していることが分かる。子ども向け解説やQRコードからの英語・中国語翻訳など多様な客層にも対応できるようになった。ただし、今回のリニューアルは主に展示内容そのものに関わるものが多く、もっと写真映えのするスポットを求める声もあった。

A

今後の課題の解決に向けた

改善推進

今後の事業の方向性
ビデオシアターが現在生誕110年の特別仕様となっているため、今後継続して使用するための仕様に変更する必要がある。展示リニューアルの締めとして番組のボタン選択制を導入し、以前より利用しやすくする。展示パネルの刷新はいったん終了したが、来館者の声をききながら、展示ケース内に手を加えるなどできる限りのフォローを行い展示の改善を行う。フォトスポットについては企画展などを通して、時々の特設のものを提供していく。

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用